

臨床検査を終了した検体(残余検体)の使用について

岡山赤十字病院、検査部・病理部では、日常診療における質の向上や迅速で精度の高い検査データを提供することを目標とし、日々の臨床検査を行っています。そのために、臨床検査後の残余検体を再利用させていただき、検査の精度管理、測定法の基礎的検討、臨床検査技師の教育や学生実習、研究等のために役立てています。

当検査部門では、残余検体の取り扱いについては、「臨床検査を終了した検体の業務、教育、研究のための使用についてー日本臨床検査医学会の見解ー」を遵守し行っています。

検査終了後の残余検体の再利用について、ご理解頂き、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【対 象】

当院で臨床検査(血液、尿、組織など)が実施され、医師が依頼したすべての検査が終了した検体

【方 法】

患者さんの個人情報を削除し、匿名化したうえで管理、使用いたします。

【倫理的配慮について】

臨床検査後の廃棄予定の残余検体を使用するため、患者さんの生命、健康に直接影響を及ぼすことはありません。個人情報はずべて匿名化された後に使用いたしますので、個人情報が漏れることはありません。残余検体使用後のデータは、医学の発展のために学会や学術論文等で発表させていただくことはありますが、その際にも個人が特定出来る情報はすべて削除して使用いたします。

残余検体の再利用にご協力いただけない場合でも診療上の不利益を受けることは一切ございません。

残余検体の再利用にご承諾いただけない場合は、お手数ですが採血時に担当職員にお申し出ください。

令和7年4月

連 絡 先	岡山赤十字病院 検査部・病理部
検査部技師長	林 敦志
電 話	086-222-8811(代表)